

New City Hall



2025年10月

千葉市IR資料



① 千葉市について

千葉市のプロフィール	P. 3
千葉市の特色①国内外のアクセスに有利な立地	P. 4
千葉市の特色②多様な人々が集う都市	P. 5
千葉市の特色③豊かな自然環境と人にやさしいまちづくり	P. 6
企業立地～多岐にわたる産業集積～	P. 7

② 千葉市の取組みについて

令和7年度当初予算の特徴	P. 9
千葉市基本計画及び実施計画	P.10
千葉市地球温暖化対策実行計画	P.11
主な事業①新庁舎整備事業	P.12
主な事業②新清掃工場建設事業	P.13
主な事業③千葉開府900年記念事業	P.14
ふるさと納税	P.15

③ 千葉市の財政状況について

普通会計における歳入と歳出の状況(令和6年度)	P.17
普通会計における歳入規模と歳出規模の推移	P.18
中期財政運営方針(令和4年度～令和7年度)	P.19
普通会計における市債発行額の推移(新規事業分)	P.20
全会計における市債残高の推移	P.21
健全化判断比率の推移	P.22
財政力指数の推移	P.23
市債管理基金(減債基金)	P.24

④ 千葉市の起債運営について

起債運営方針	P.26
資金区分及び発行年限・償還方法の推移	P.27
全国型市場公募地方債(個別発行)の発行実績	P.28
令和7年度市場公募債発行計画	P.29
千葉市令和5年度第4回公募公債(サステナビリティボンド)	P.30
千葉市令和5年度第7回公募公債(ブルーボンド)	P.31
千葉市令和6年度第4回公募公債(グリーンボンド)	P.32
千葉市令和6年度第7回公募公債(ブルーボンド)	P.33
千葉市令和7年度第4回・第5回公募公債(グリーンボンド)	P.34,35



千葉市脱炭素キャラクター
エコ葉



千葉市の花
「オオガハス」の妖精
ちはなちゃん



加曽利貝塚PR大使
かそりーぬ



市役所旧庁舎

1. 千葉市について

千葉市のプロフィール

千葉市の概要

市制施行	大正10年1月1日
政令指定都市移行	平成4年4月1日
面積	271.76km ²
人口	987,234人 (R7.9.1現在)
世帯数	482,849世帯 (R7.9.1現在)
生産年齢人口比率	63.1% (R7.6.30現在)

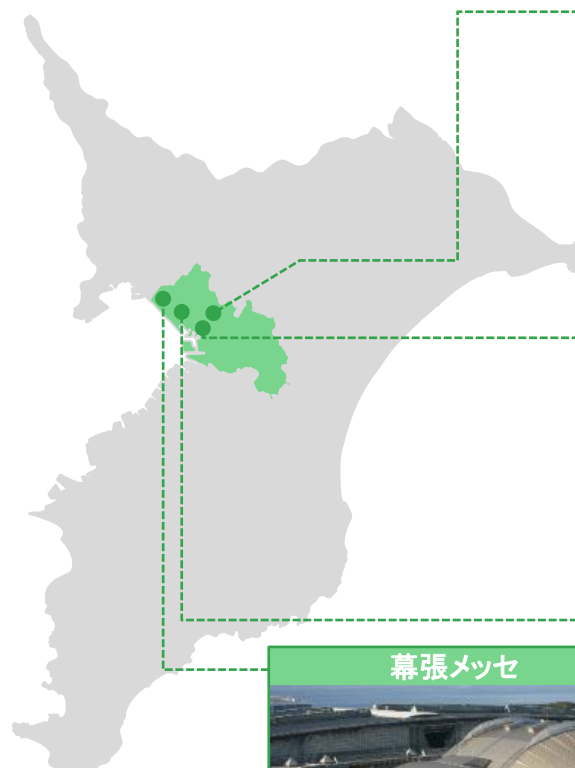
千葉市の特徴

地理的特徴

- 千葉市は東京湾の湾奥部に面し、千葉県のほぼ中央部に位置します
- 鉄道や幹線道路の結節点として県内の交通の要衝となっています
- 大都市でありながら住宅地と農村地域が両方存在し、緑と水辺に恵まれていることが特徴です

気候面の特徴

- 気候は比較的温暖で、令和6年の年間平均気温は18.0℃、年間降水量は1634.5mmです



千葉市動物公園



立ち姿で有名なレッサーパンダ「風太」を飼育していることで知られる

TIPSTAR DOME CHIBA



自転車競技の国際規格に基づいた250メートル木製トラック(バンク)を有する多目的スポーツ施設

幕張メッセ



日本を代表するコンベンション施設
東京2020オリンピック・パラリンピック
競技会場

ZOZOマリンスタジアム



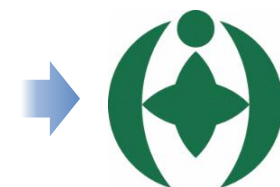
プロ野球・千葉ロッテマリーンズの
本拠地

千葉市章

千葉市章のデザインは、
千葉市の開祖・千葉氏の月星紋に
千葉の「千」を配したものです



月星紋



千葉市の特徴①：国内外のアクセスに有利な立地

- 陸路・海路・空路のすべてにおいて、強力な優位性を持つのが千葉市の最大の特徴です。
- 国内トップクラスの貨物取扱量を誇る「千葉港」、都心や国際空港への軽いフットワークを実現する鉄道網と道路網など、国内・海外問わず容易なアクセスを実現しており、企業立地の促進に繋がっています。

陸路

発展を続ける陸上交通網

道路網と鉄道網いずれにおいてもさらなるアクセス向上に向け、施策を推進

高速道路・圏央道等のさらなる利便性向上

- 千葉市周辺の支道網は外環道（東京外かく環状道路）三郷南IC～高谷JCT間が開通し、関越道・東北道・常磐道と千葉県湾岸エリアとの交通が円滑化
- 圏央道も千葉県区間の早期開通へむけて整備中であり、利便性の向上が見込まれる。
- 東京方面のアクセスを向上させるため（仮称）検見川・真砂スマートICを整備予定
- 湾岸地域の交通容量不足の解消を図るため国が新湾岸道路の調査・検討を開始



海路

日本を代表する国際貿易港「千葉港」

- 取扱貨物量では全国2位を誇る「千葉港」
- さまざまなコンテナ需要に対応し、コストの面でもさらなる削減が期待可能



港湾取扱貨物量ランキング



1億2,624万トン

全国2位

※千葉港全域の数値
出典：港湾取扱貨物量ランキング（2023年）（国土交通省港湾局）

空路

成田・羽田のほぼ中間ポジション

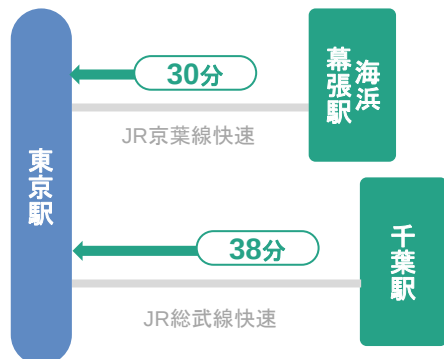
- 首都圏2つの国際空港まで車で30分以内と世界に繋がるには最適の都市



車でも電車でもアクセスしやすい立地



2023年3月 新駅「幕張豊砂駅」の開業で鉄道ネットワークもさらに強化



千葉県内のJRの駅としては
1998年の東松戸駅以来の新駅設置
イオンモール幕張新都心至近

千葉市の特徴②:多様な人々が集う都市

- 千葉市は数多くの大学を有していることや、ハローワーク・ポリテク(職業能力開発促進センター)との連携といった手厚い雇用支援体制を背景に、**千葉県内における通勤先として人が集まる圏域の拠点都市**となっています。そのことから、**昼夜間人口比率が首都圏政令市で突出**しており、県内で高い拠点性を有しています。
- 世界中から多くの来場者が集まり、大きな経済波及効果等が見込まれる各種大型イベントの開催地に選ばれている実績があります

市内に8校の大学、短大なども合わせると11校

- 千葉市は数多くの大学を有しており、人口100万人あたりの大学数は首都圏政令市の中で突出
- また、千葉大学をはじめとした市内を代表する各大学と産学連携体制を確立



人口100万人あたりの大学数

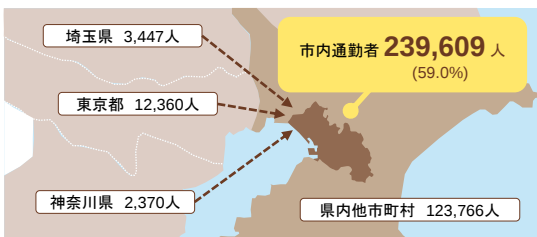
千葉市	8.2
川崎市	4.5
横浜市	4.2
さいたま市	3.7
相模原市	2.8

出典:大都市比較統計年表(令和5年)

周辺エリアから人が集まる圏域の拠点都市

- 千葉市は、千葉県内における通勤先として高い拠点性を有しており、昼夜間人口比率は98.1%と首都圏政令市中でもっとも高い数値

千葉市外からの通勤流動



出典:R2年国勢調査

*昼夜間人口比率とは

夜間人口と昼間市内にいる人の割合を比べた値。市外への通勤・通学者が少なく、市外から通勤・通学者が多く集まる都市ほど、割合が高くなる

首都圏政令市の昼夜間人口比率*

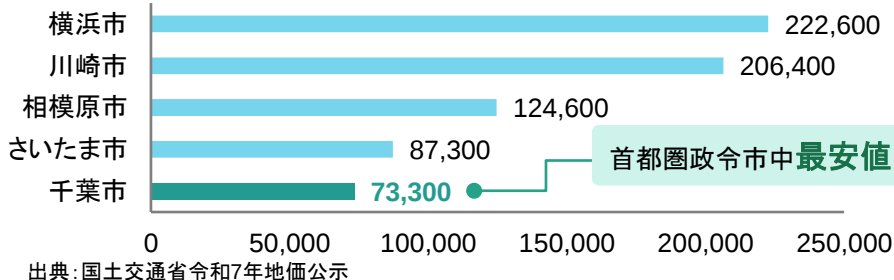
千葉市	98.1
さいたま市	92.9
横浜市	92.5
相模原市	88.9
川崎市	87.3

出典:R2年国勢調査

ローコストハイグレードシティ(首都圏政令市最安値の地価)

- 首都圏にありながら、工業用地の地価やオフィスの賃料が割安で、低コストで広い面積の確保が可能

工業地地価公示平均価格(円/㎡)



集客力が高い各種大型イベントの開催を支える都市基盤

- 充実した都市基盤を活かして、世界各国のトップチームが参加する「バレーボールネーションズリーグ2025千葉大会」をはじめ、民間主催の大型音楽イベント(ジャパニズム、ロック・イン・ジャパン、サマーソニック、カウントダウンジャパン等)などの開催地に選ばれた実績を有し、地域振興や千葉市の知名度向上に貢献

バレーボールネーションズリーグ2025 千葉大会



令和7年7月 千葉ポートアリーナ

ROCK IN JAPAN FES.2024



令和6年8月 蘇我スポーツ公園

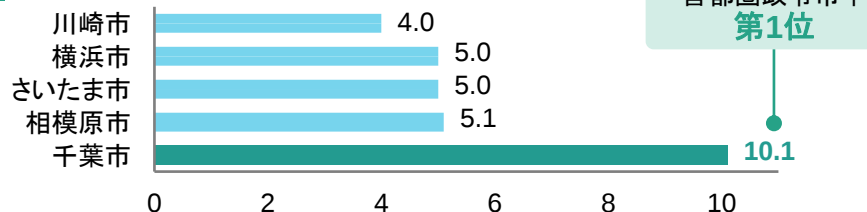
千葉市の特徴③:豊かな自然環境と人にやさしいまちづくり

- 千葉市には、潮風が感じられる海辺や緑に癒やされる里山など、自然環境の豊かさもあります。
- また、待機児童の解消といった子育てしやすい環境への注力など人にやさしいまちづくりも推進しています。

海辺と里山、それぞれの暮らしやすさ

- 千葉市は海と緑の両方に恵まれており、人口1人あたりの都市公園面積が首都圏内政令市中第1位であるなど、自然に囲まれた潤いがあるまち

人口1人あたりの都市公園面積(㎡/人)



出典:国土交通省HP(R6年3月31日時点)

- 「海辺エリア」と「里山エリア」と魅力あふれる異なったエリアに分かれる

海辺エリア

- 「幕張エリア」ではイベントやショッピングが楽しめ、「検見川エリア」はマリンスポーツのメッカ。BBQや海水浴・プールの「稲毛エリア」に、港の風景が広がる「千葉みなとエリア」、工場夜景が魅力の「蘇我エリア」とその表情もさまざま



検見川の浜



稲毛海浜公園

里山エリア

- 千葉市の内陸部、中でも若葉区や緑区には多くの自然が残り、田畑が広がるエリアが存在
- 「泉自然公園」「昭和の森」などの自然を活用した大型公園や、「千葉市動物公園」「加曽利貝塚」「観光農園」「観光牧場」「直売所」など



昭和の森



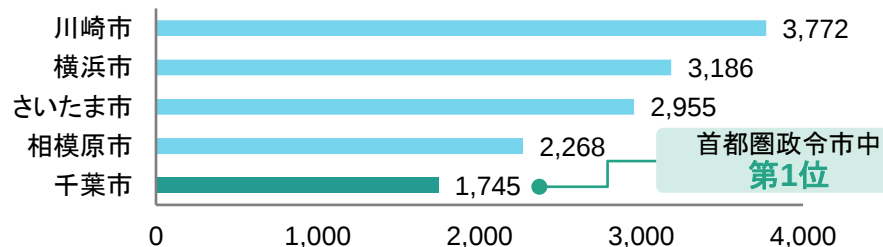
加曽利貝塚

生活にちょうどいい住環境

- 首都圏の大都市と比べると、地価が安く宅地も豊富

住宅敷地価格(土地123.95㎡を購入する場合)

(万円)

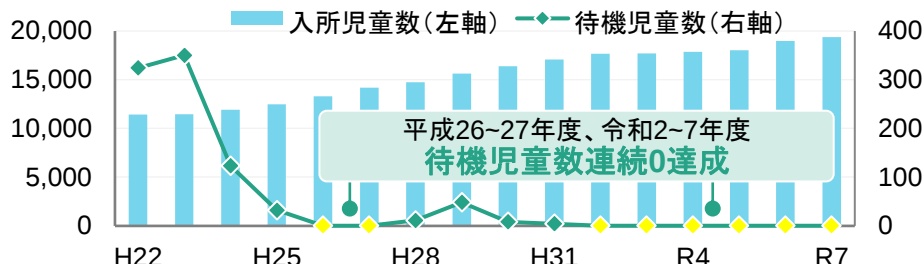


出典:国土交通省令和7年地価公示

子ども親も笑顔になれるまちづくり

- 待機児童数は近年0人で推移。未来をはぐむさまざまな計画も進行中

千葉市待機児童数の推移(人)



推進中の事業

認定こども園の普及促進

保育施設整備に対する財政支援

保育人材の確保

子育て家庭への経済的支援

子どもルーム、延長保育などの子育て支援事業の推進

企業立地～多岐にわたる産業集積～

企業立地については

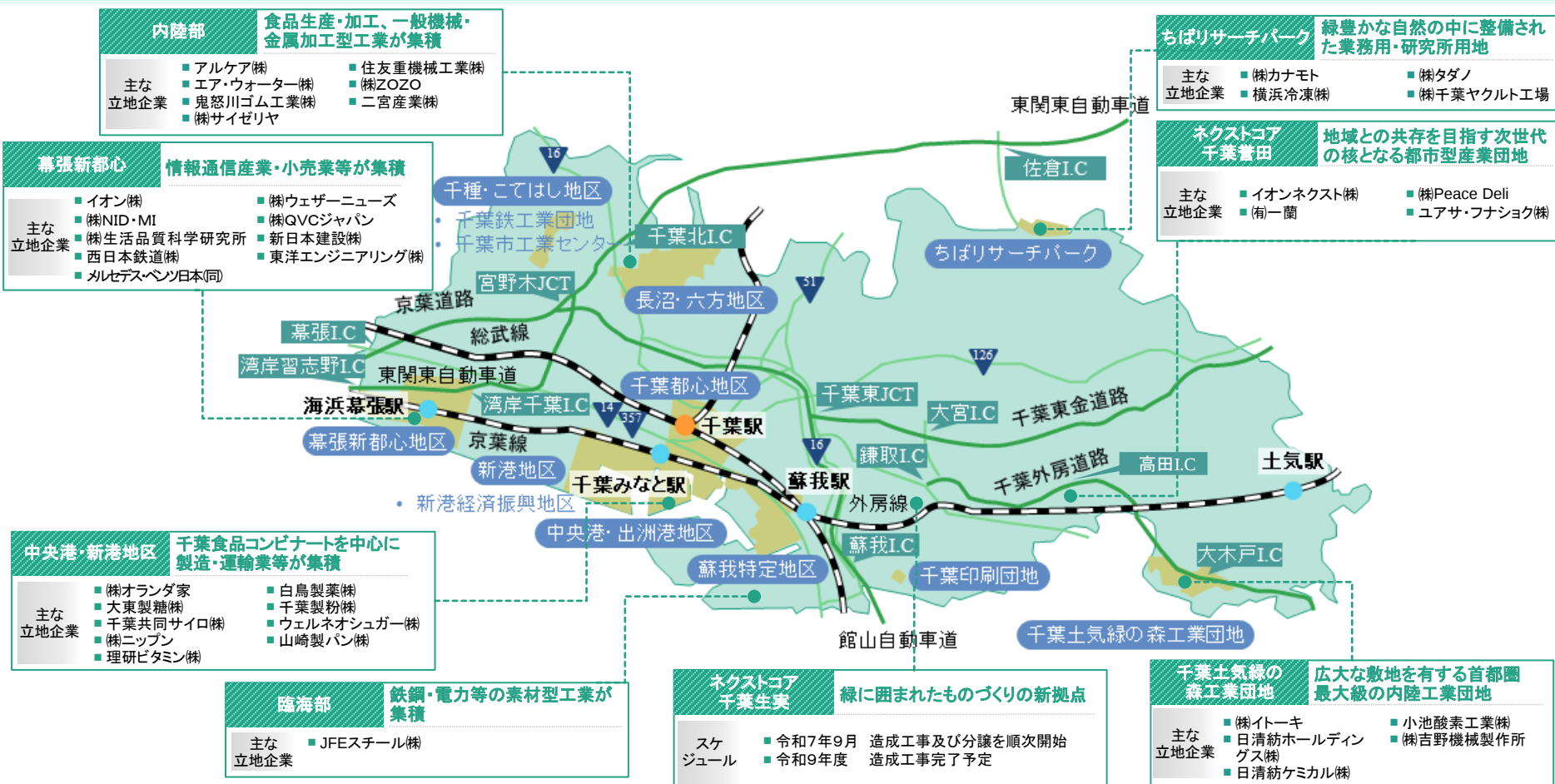
千葉市 企業立地ガイド

検索



企業立地補助制度の概要と特徴

- 税源の涵養や雇用創出を図るため、補助メニューや要件を毎年ブラッシュアップ。企業の投資意欲を積極的にサポートしています。
- 幅広い対象業種と対象地域、オフィス賃借に対する補助(賃借型)など、多彩な補助メニューに加え、既進出企業への追加投資に対する補助メニューを設けるなど、立地後も安心の操業環境を創出しています。
- 企業誘致の実績は、単年度平均では約30件、令和6年度は46件となっており、3年連続で過去最高を更新しました。





市の花木 キョウチクトウ

2.千葉市の取組みについて

令和7年度当初予算の特徴

- **最終年度を迎える第1次実施計画について**、事業費の精査を行ったうえで、事業の推進を図ります。また、子育て、教育、医療、介護、環境、防災、都市づくりなどを中心に、市民生活の向上や本市の発展につながる施策には重点的に予算を配分します。
 - 財政の健全性に配慮した取組及び行政改革の取組を推進するとともに、既存の事務事業については、事業効果や必要性について検証を行い、状況に応じて見直しを図ります。
- ・ 総額: 1兆109億500万円 / **一般会計: 5,512億円** / 特別会計: 4,597億500万円

子ども・教育

- 妊娠前から子育て期までの支援の充実
 - 妊婦のための支援給付 等
- 学びを支える教育環境の充実
 - 体育館冷暖房設備整備 等
- 放課後の子どもの居場所と多様な体験・活動の充実
 - 子どもルーム整備 等



地域社会、文化芸術・スポーツ

- 相互に分かり合える共生社会の実現
 - フェアトレードの推進 等
- 文化・芸術活動の創出と支援
 - 千葉国際芸術祭の開催 等
- 文化財の保全・活用
 - 郷土博物館の充実 等



健康・福祉

- 医療提供体制の充実
 - (仮称)幕張海浜病院の整備 等
- 介護保険サービス提供体制の整備
 - 特別養護老人ホーム整備費助成 等
- 障害のある方への支援
 - 障害者基幹相談支援センター運営 等



地域経済・農業振興

- 地域経済の新たな担い手の創出
 - 起業家海外展開実践研修 等
- MICEの推進
 - MICE誘致へ向けた開催支援 等
- 農業の担い手確保・育成
 - ニューファーマー育成研修
 - 未来の千葉市農業創造 等



環境・自然

- 地球温暖化対策の推進
 - 脱炭素先行地域に基づく取組み
 - 住宅用再エネ・省エネ設備等設置費助成
 - 省エネ教育プログラム 等
- 環境負荷に配慮したごみの削減と適正処理
 - 新清掃工場の整備 等



安全・安心

- 災害対応体制の強化
 - マンホールトイレの整備及び施設計画策定 等
- 消防力の充実・強化
 - 花見川消防署出張所の建替 等
- 防犯対策・被害者支援の推進
 - 防犯カメラの設置・設置費助成 等



都市・交通

- 持続的な公共交通ネットワークの形成
 - 生活交通バス路線維持支援 等
- 地域資源の発掘・活用
 - 千葉開府900年に向けた取組 等
- 道路ネットワークの形成
 - (仮称)検見川・真砂スマートIC整備 等
- スマートシティの推進
 - 書かない窓口の導入
 - eスポーツなどを活用したデジタル人材育成

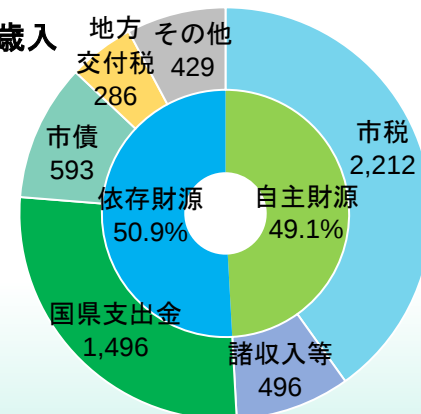


物価高騰対策

- 学校給食費支援
- 保育施設等給食費等支援

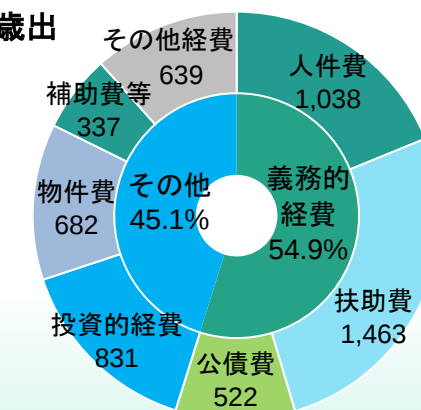


一般会計歳入 (億円)



歳入: 5,512 億円

一般会計歳出 (億円)



歳出: 5,512 億円

千葉市基本計画及び実施計画

基本計画については

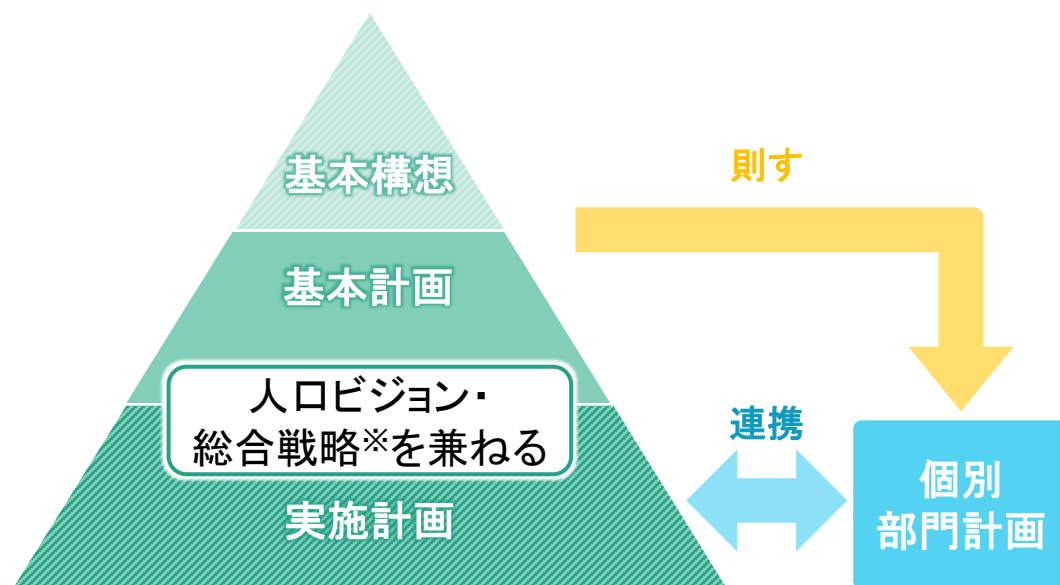
千葉市 基本計画

検索



- 本市の総合計画は、基本構想・基本計画・実施計画の3層で構成されています。
- 令和5年度から、基本構想の実現に向け、まちづくりの方向性や今後の施策展開を提示する千葉市基本計画(計画期間:2023~2032年度)及び具体的な事業内容を示す第1次実施計画(計画期間:2023~2025年度)がスタートしました。
- 本計画に基づき、本市ならではの特性を活かしつつ、新たな時代を切り拓く未来志向のまちづくりを推進します。

千葉市総合計画の計画体系



基本構想

- 市政運営の指針として、恒久的な都市づくりの基本理念・基本目標、望ましい都市の姿を示す

【基本理念】人間尊重・市民生活優先

【基本目標】人とまち いきいきと幸せに輝く都市

基本計画

- 基本構想を実施するため、まちづくりの方向性などを示す基本方針や今後の施策展開を示す

【計画期間】2023~2032年度(10年間)

実施計画

- 基本計画に基づく具体的な事業を提示

【第1次実施計画】2023~2025年度

※ 人口ビジョン・総合戦略

目指すべき人口の将来展望とその達成に向けた取組みを示す

千葉市地球温暖化対策実行計画

- 本市では、2019年に発生した房総半島台風等による被害を受け、気候変動を「気候危機」と位置付けるとともに、この危機に立ち向かう「行動」を重視し、2020年11月に「千葉市気候危機行動宣言」を公表しました。
- この宣言において、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことを明記したことなどを踏まえ、2023年度～2030年度を計画期間とする新たな地球温暖化対策実行計画を2023年3月に策定しました。
- なお、計画に掲げる市有施設の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロの実現を、目標である2030年度より前倒して2026年度に達成できる見込みとなりました。

6つの柱と主な事業

① 使用エネルギーのカーボンニュートラル化

- 省エネ設備の導入推進
- 再エネ電気やCO2フリー電力の購入推進
- 動物公園内へのバイオマス熱ボイラー導入
- 谷津田の森林整備、斜面緑地等の保全

② モビリティのゼロ・エミッション化

- 次世代自動車の導入促進
- EV 充電設備設置の推進
- 自転車走行環境の整備
- グリーンスローモビリティの活用

③ 住宅・建築物のネット・ゼロ・エネルギー化

- エネルギーシェアリングタウンの創設・推進
- 廃棄物発電を活用したエネルギーマネジメント
- イベント会場施設の脱炭素化
- ZEB プランニング助成



学校屋上に設置した太陽光パネル

④ 市役所の率先的行動

- 公共施設への太陽光発電・蓄電池の導入
- 公共施設へのLED 照明の導入
- ごみ焼却により発生する余剰電力活用
- 公用車への電動車導入、EV 充電設備の導入

⑤ 気候変動への適応

- 公共施設への可搬型給電器設置
- 急傾斜地崩壊防止施設の整備
- 雨水施設、排水施設の整備
- 森林及び緑地の保全・整備

⑥ あらゆる主体の意識醸成

- イベントにおける割りばし回収
- 脱炭素推進パートナーへの支援
- MICE開催時の温暖化対策に対する補助制度
- SDGs債の発行及び購入



新港クリーン・エネルギーセンター EVステーション

千葉市が脱炭素先行地域に選定されました

- 脱炭素先行地域とは、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかのCO2排出の削減についても、我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域です。
- 2025年度までに少なくとも100か所の地域が選定される予定で、2025年5月までに117市町村の88提案が選定されています。本市は2022年11月に県内で初めて脱炭素先行地域に選定されました。（脱炭素先行地域の選定状況は環境省ホームページをご覧ください。）

千葉市における脱炭素先行地域の取組み

千葉市 脱炭素先行地域

検索



主な事業①:新清掃工場建設事業



- 従来の3清掃工場体制から3用地2清掃工場運用体制へ移行するため、北谷津清掃工場跡地に**新清掃工場を整備します。**
- 令和3年4月~令和4年10月にかけて旧清掃工場の解体を行い、令和4年11月から新築工事を開始しています(令和7年度に竣工予定)
- 埋立処分量の削減や効率的なエネルギー回収により環境負荷の軽減が見込まれる事業であるため、本事業に係る資金の調達にはSDGs債を活用しています。

最終処分場への埋立量削減

- 可燃ごみだけでなく、市内他の清掃工場から排出される焼却主灰、粗大・不燃ごみを破碎した後の残渣、災害廃棄物などの多様なごみを熔融処理可能
- 従来は最終処分場に埋め立てていた焼却主灰が発生しない
- 熔融スラグは運営事業者が引取り再資源化(公共工事等で利用)

最終処分場の
長寿命化

資源の有効活用

発電能力・発電効率の上昇

- ごみ焼却により発生する熱エネルギーを発電に活用
- 新清掃工場の発電能力及び発電効率は従来比約2倍
- 増加した余剰電力を、自己託送等により市有施設へ送る構想

エネルギーの
有効活用

購入電力量の削減

自己託送

電力需要場所から遠隔地に自家発電設備を設置し、発電した電気を一般送配電事業者が管理・運営する送配電ネットワークを利用して遠隔地の電力需要場所へ送電すること

新清掃工場完成イメージ図



余剰電力活用例①
若葉いきいきプラザ



余剰電力活用例②
北谷津温水プール



熔融スラグ

主な事業②:新病院整備事業



- 老朽化への対応として、現海浜病院の機能を基盤とした少子超高齢社会に求められる**新病院の整備を進めています**。
- 新病院は、地域の中核的な病院として一般診療機能を備えるとともに、医療機能の強化や集約化により、総合的な医療を提供できる病院を目指します。
- 令和8年秋頃に開院予定。

新病院の基本方針 ～ 目指す病院像と具体的な取組み ～

胎児から高齢者まで切れ目のない医療提供

- NICU(新生児集中治療室)を21床から24床に増床
- 精神的なケアを必要とする患者に対し、認知症サポート医や臨床心理士を配置
- 地域の在宅療養支援診療所などと連携しながら、退院後の自宅療養生活を支援する体制を整備

感染対策の強化

- 感染専用出入口、緊急用エレベーターを設け、一般患者と動線を分離できる計画
- 感染患者に対応するための設備を備えた感染対応病床を計画するとともに、感染拡大時には単独で区画可能な感染対応病棟を計画

救急医療の強化

- 重症患者の受け皿としてICU(集中治療室)8床、HCU(高度治療室)8床を整備
- 緊急性の高い治療に迅速に対応するため、手術室や血管造影室、ICU、分娩室を緊急用EVIに隣接配置

新病院完成イメージ図



災害医療の強化

- 大規模災害時に多数の傷病者の受け入れやトリアージ、診療スペースとして、防災ひろばや非常用医療ガス等を備えた講堂、エントランスモールなどを整備
- 災害時の患者搬送を想定し、屋上にヘリポートを整備
- 地震、液状化対策として、建物を高い耐震性を有し 地震の揺れを低減する免震構造とし敷地を地盤改良
- 高潮時の浸水対策として、敷地の地盤面を道路面から約2～3m嵩上げ
- 災害時でも飲用・雑用として利用可能な井水利用設備を整備

がん診療体制の強化

- 肺がん、乳がん、前立腺がん、消化器がん等の診療科や部門の体制を整備
- 高度な外科的治療や低侵襲治療に対応するため、手術室を9室整備
- 増加が見込まれる外来化学療法患者に対応するため、外来化学療法室の病床を16床に増床

主な事業③:千葉開府900年記念事業



千葉開府 900年

千の葉に 時を刻んで 900年 開府900年記念サイト



令和8(2026)年、千葉市は、まちが開かれてから900年という大きな節目を迎えます。千葉開府900年記念の様々な取り組みを通じて、以下のようなまちの実現を目指します。

- 幅広い世代の市民が千葉市の歴史を知り、郷土への誇りと愛着を感じているまち。
- 千葉市の未来を担う若い世代を中心とした多くの市民が、未来へ向けたまちづくりに関心を持ち主体的に関与しているまち。
- 多様な市民や企業等による新たな交流・連携(地域のつながり)の好循環が生まれ、本市の社会・経済・文化を支える新たな価値を創出できる人材や企業が育成・輩出されるまち。

千葉市の起源

- 平安時代後期の大治元(1126)年の6月1日に、桓武天皇のひ孫高望王(たかもちおう)(後に平高望)の子孫、常重(つねしげ)が、現在の緑区大椎(おおじ)町から中央区亥鼻(いののはな)付近に本拠地を移し、初めて「千葉」と名乗り、ここに千葉のまちとしての歴史が始まったとされています。
- 常重の息子の常胤(つねたね)は、源頼朝を助け、鎌倉幕府の成立に大きく貢献しました。以降400年にわたり、千葉氏は下総の地を治め、常胤の息子たちも全国各地に勢力を拡大し、地域の状況に応じた都市経営を通じて、人材や文化を育んできました。

千葉開府900年記念事業の基本理念

- 千葉一族からの学びを活かし、未来へ向けたひとづくり、文化づくり

実施期間

- 記念期間:令和8(2026)年4月1日～令和9(2027)年3月31日
- 先行期間:令和7(2025)年4月1日～令和8(2026)年3月31日

主な取り組み

- 千葉国際芸術祭2025
 - ・ 持続的な地域文化の創造の礎 となり、『人づくり』『まちづくり』『未来づくり』に寄与することを目的に、市民参加型芸術祭を開催します。
 - ・ 2023年にプレ企画を始動。2025年秋の本会期を目指して、千葉市の各地で多様なテーマを持つ、アートプロジェクトを展開します。



令和6年のアートプロジェクトの様子

- 記念式典、記念まつり、記念パレード
- 記念モニュメント設置
- 中央公園・通町公園の連結強化

- 郷土博物館のリニューアル
 - ・ 「陸と海・人とモノを結ぶ『千葉』」をテーマに、千葉氏をはじめとする郷土の歴史を楽しみながら学べる拠点となるため、リニューアルを実施します。



(上)外観
(左)リニューアル後イメージ

- 千葉氏サミット、千葉氏こどもサミット
- 記念サイクリング・ウォーキング
- 千葉市美術館企画展

ふるさと納税

- ふるさと納税では一般財源を確保するとともに、本市の魅力発信や事業者支援、地域活性化に資するような返礼品の拡充など、**本市に一層関心を持っていただけるような取組みを推進**しています。
- 税制上の優遇措置が受けられる「**企業版ふるさと納税**」による寄附も募集しています。

個人向けふるさと納税

返礼品の一例



千葉市のブランド「千」認定
落花生「おおまさら」



幕張ブルワリー
クラフトビール



ホテルニューオータニ幕張
ご利用券



メルセデスベンツ
キャディバッグ



千葉市をホームタウンとする
プロスポーツのグッズ



FUNLOGY
ワイヤレスイヤホン



イオン トップバリュ
家電製品

申込サイト一覧

- ふるさとチョイス
- 楽天ふるさと納税
- ANAのふるさと納税
- JREALLふるさと納税
- ふるなび

- まいふる
- JALふるさと納税
- マイナビふるさと納税
- さとふる
- Amazonふるさと納税

各サイトへのアクセスはこちら



(千葉市ふるさと納税HP)

企業版ふるさと納税

主な募集事業

100年先に引き継ぐ 持続可能なまちづくり

- ・脱炭素化社会の実現に向けた取組
- ・避難所の環境整備
- ・耐震診断・耐震改修の促進
- ・千葉開府900年記念に向けた取組
- ・オオガハスの魅力発信



千葉市の花「オオガハス」

世界とつながる 多様性を活かした インクルーシブなまちづくり

- ・多様性を生かしたまちづくりの推進
- ・子育て環境の整備
- ・不登校対策の推進
- ・ヤングケアラー支援
- ・パラスポーツの推進



保育環境の充実

ゆとりを生み・活かす 創造的なまちづくり

- ・国家戦略特区の推進
- ・スマートシティの推進
- ・千葉国際芸術祭の開催
- ・アスリート育成支援
- ・動物公園リスタート構想



ドローン宅配実証実験

都市機能の集積を活かした 地域経済・社会の活性化

- ・企業立地の促進
- ・創業支援の強化
- ・MICEの開催支援
- ・観光プロモーション推進
- ・スマート農業の推進



X Games Japan
X Games Chiba 2023

お問い合わせ先

寄附制度 一般について

千葉市財政局財政部資金課

TEL: 043-245-5078 / E-mail: shikin.FIF@city.chiba.lg.jp

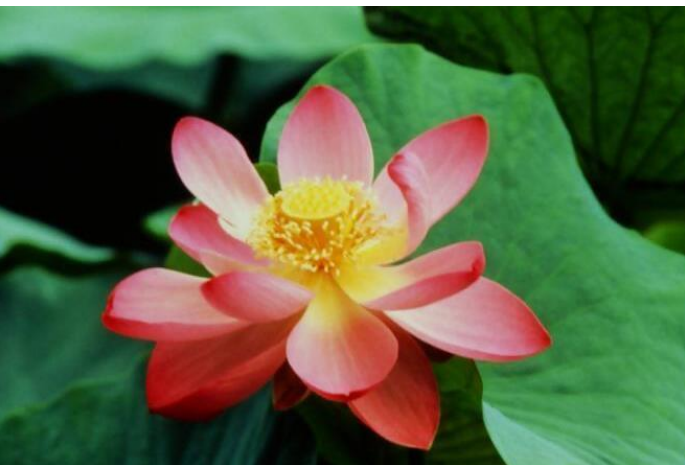
企業版ふるさと納税、 地方創生について

千葉市総合政策局総合政策部政策企画課

TEL: 043-245-5046 / E-mail: kikaku.POC@city.chiba.lg.jp

千葉市 企業版ふるさと納税 検索





市の花 オオガハス

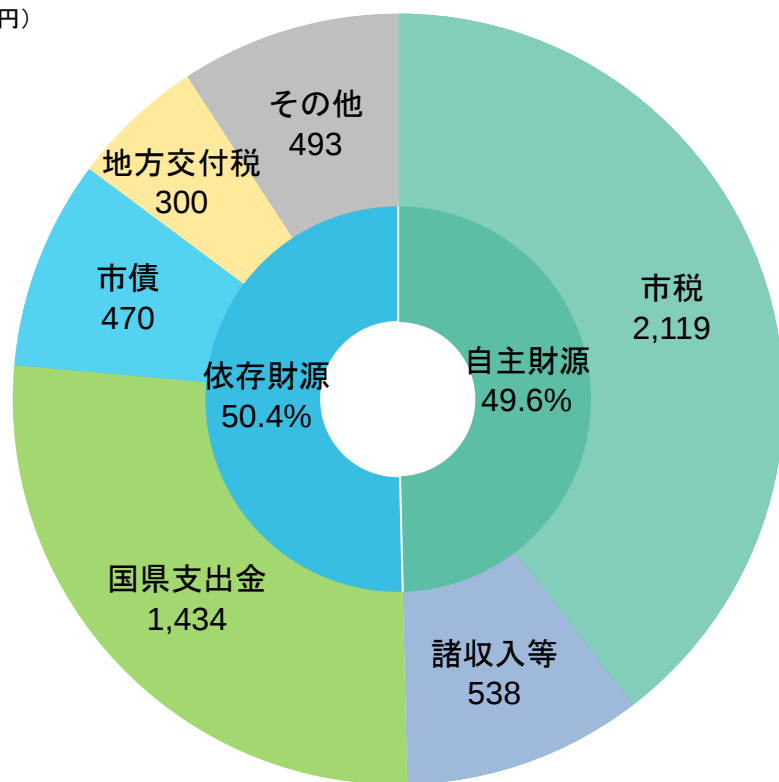
3.千葉市の財政状況について

普通会計における歳入と歳出の状況(令和6年度)

- 歳入全体に占める市税の割合が高く、自主財源の割合が49.6%(前年度と同水準)であり、引き続き**厚い税収基盤(安定性の高い財政基盤)**となっております。
- 歳出についても、より安全性の高い財政基盤構築に向け、**徹底した事務事業の見直しを行う**とともに、本市の持続的発展に必要な投資と財政の健全性の維持・向上とのバランスを図りながら、推進して参ります。

歳入

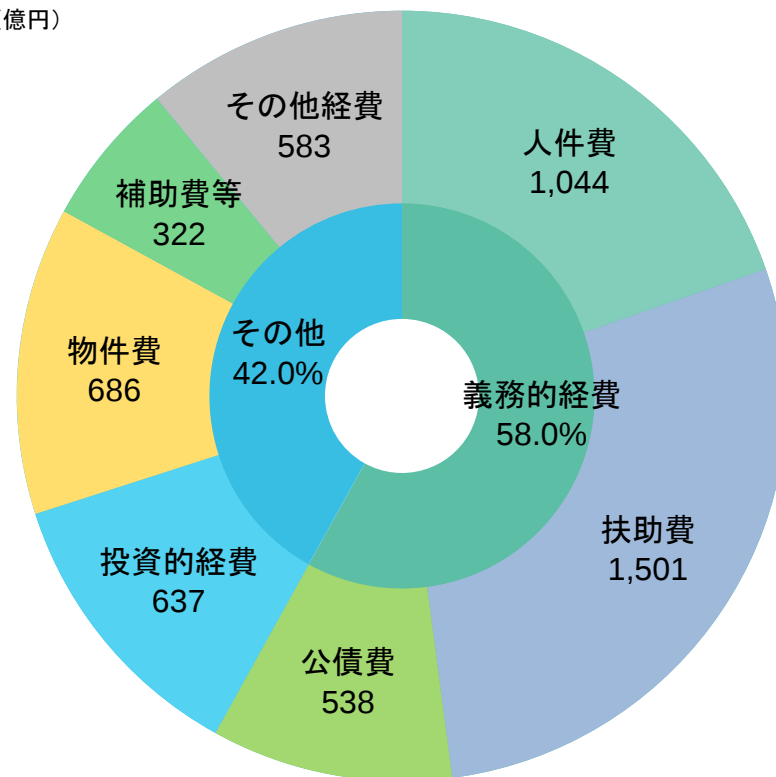
(億円)



歳入: 5,354億円

歳出

(億円)



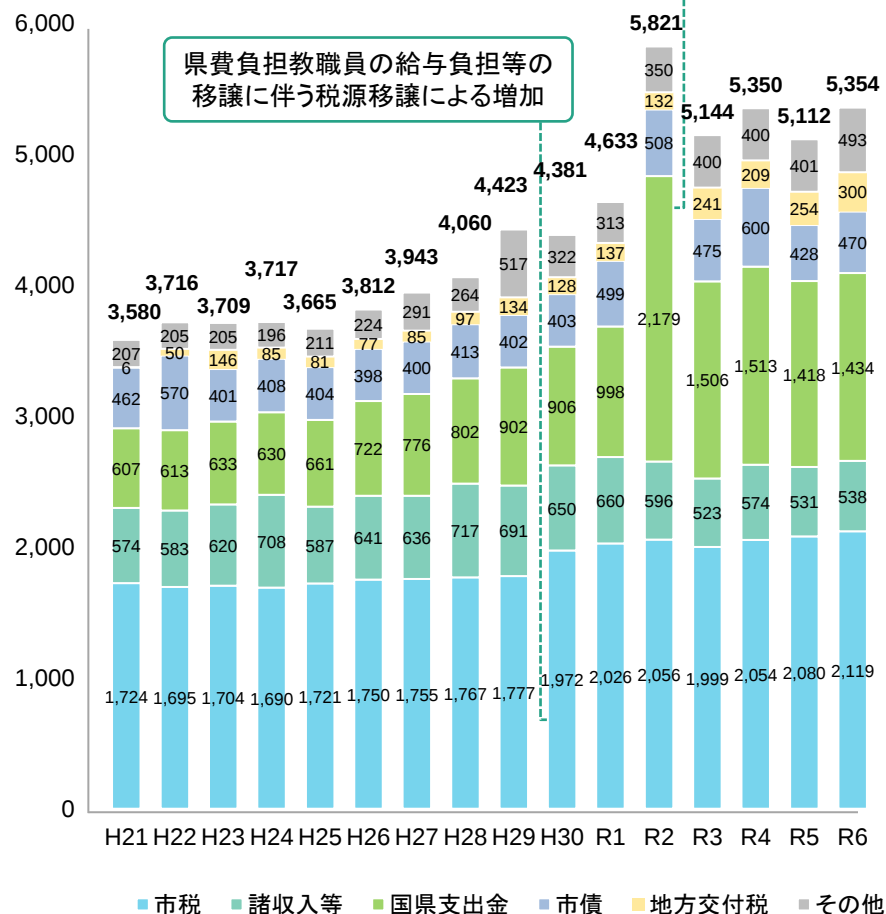
歳出: 5,311億円

普通会計における歳入規模と歳出規模の推移

- 歳入の根幹である市税収入は、直近7年間は2,000億円程度で推移しています。
- 義務的経費(人件費・扶助費・公債費)については、扶助費の増加や、公債費の高止まり等により増加傾向です。

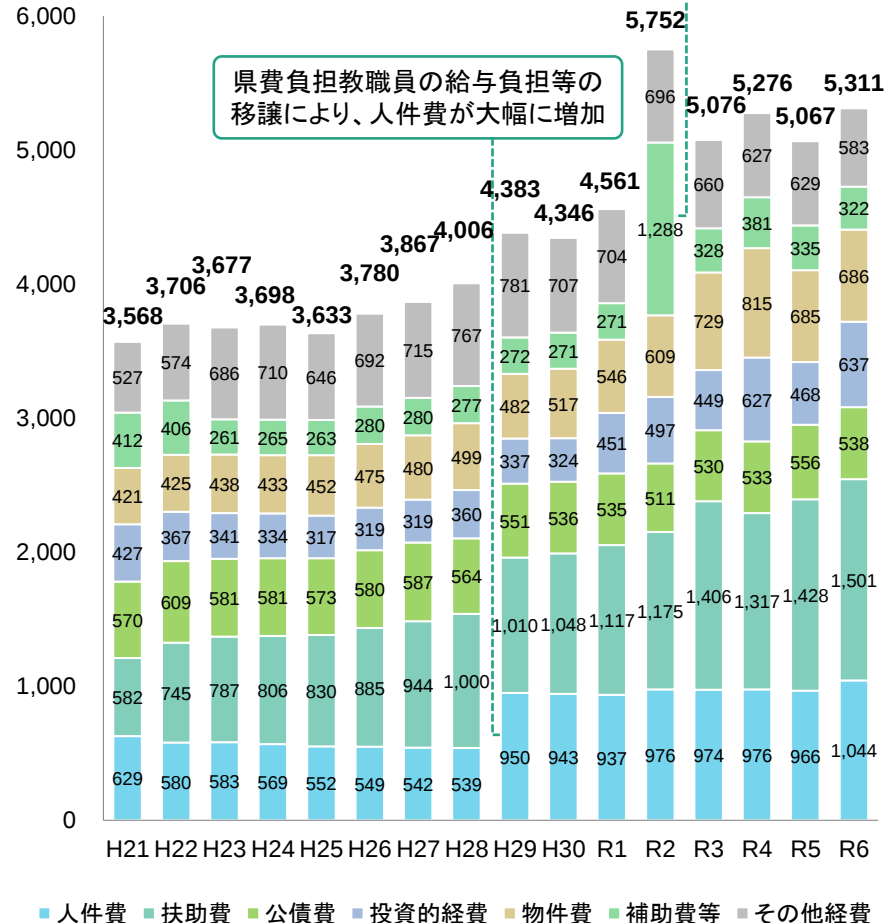
歳入の推移

(億円)



歳出の推移

(億円)

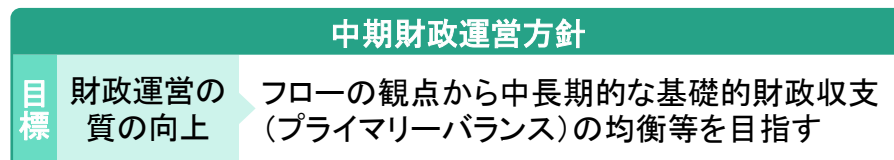
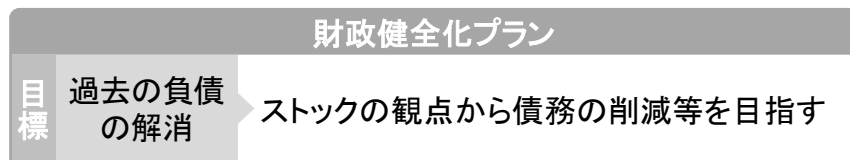


中期財政運営方針(令和4年度～令和7年度)

R4.3 策定
R6.2 更新(見直し)

- これまでの財政健全化の取組みにより**健全化判断比率や債務が一定水準まで改善**しました。
- 中長期的な視点を持って、持続的発展につながる必要な投資を着実に推進しつつも、財政運営の質の向上を図り、**将来にわたり持続可能な財政構造の確立**を目指します。

策定の趣旨



主要内容

方針 プライマリーバランス

中長期的な均衡を目指す

- 黒字を維持することにより、将来負担(市債残高)の抑制に資する

方針 健全化判断比率等

方針策定時と同水準の維持を目指す

- 実質公債費比率:11.8%
- 将来負担比率:128.8%

※R2年度決算値

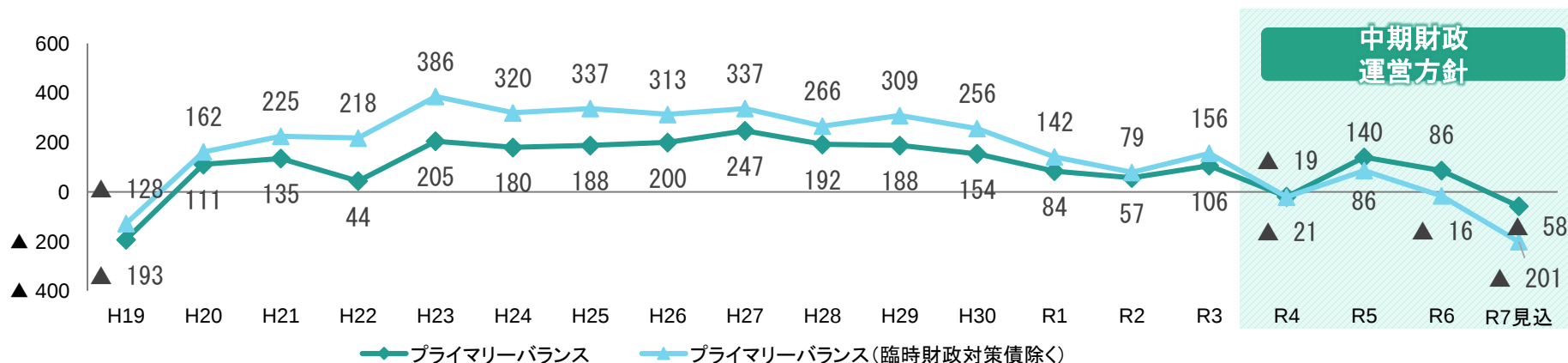
方針 基金借入金返済

期間内に60億円程度の返済を目指す

- 基金からの借入は臨時的な対応であり、早期の解消が必要

プライマリーバランスの推移

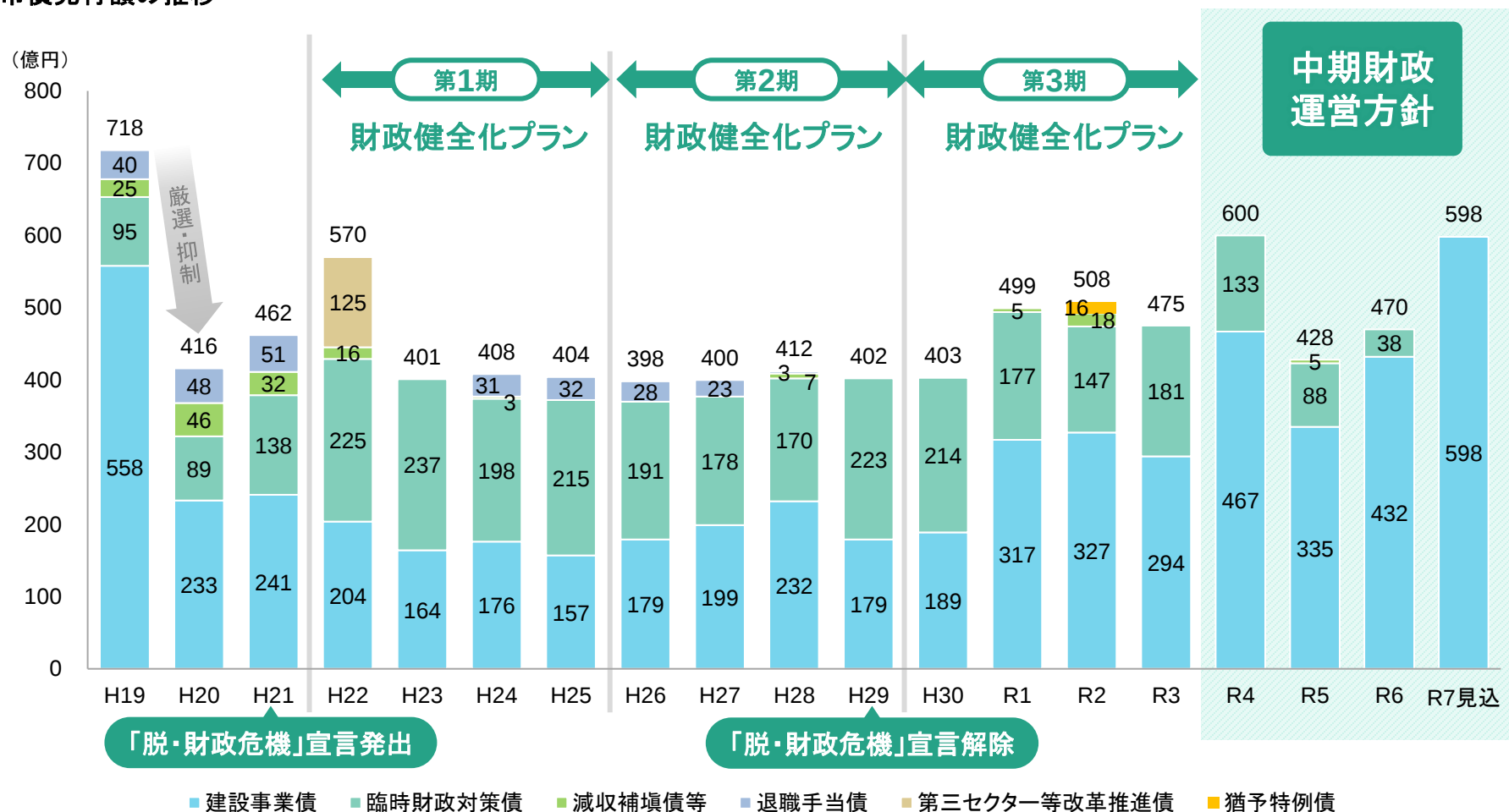
(億円)



普通会計における市債発行額の推移(新規事業分)

- 平成20年度から建設事業を厳選し、市債(建設事業債)の発行を抑制してきました。
- 令和6年度は、新清掃工場整備等の進捗に伴い、発行額が増加しました。
- 令和7年度は、新清掃工場整備事業がピークを迎えることに伴い、引き続き発行額が増加する見込みのほか、今後は政令市移行の際に整備した施設の改修等、発行額の増加要因が見受けられますが、中期財政運営方針に基づき、計画的に市債を活用して参ります。

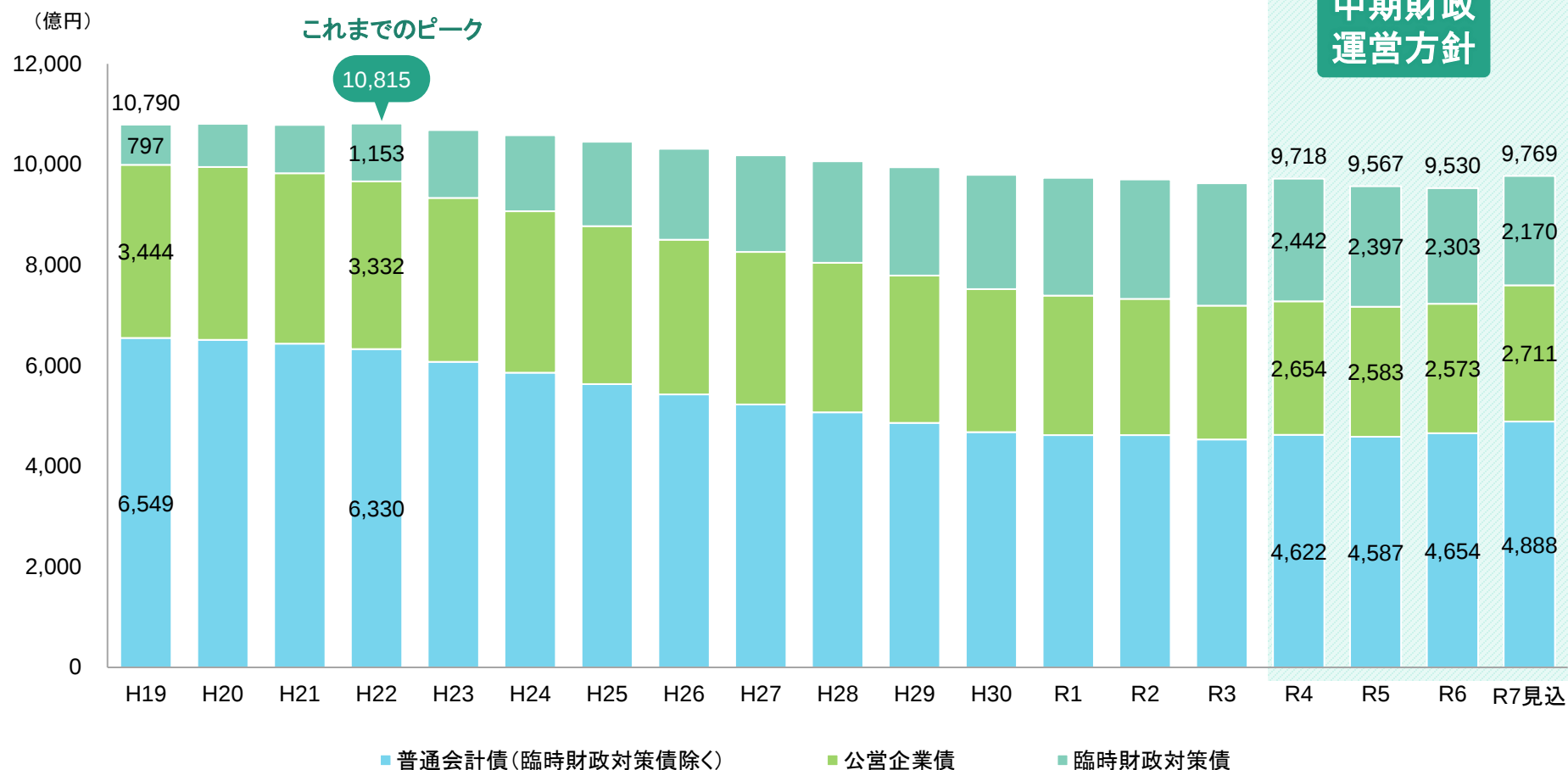
市債発行額の推移



全会計における市債残高の推移

- 臨時財政対策債残高については、これまでは増加基調にありましたが、近年は減少に転じています。
- 事業を厳選し、市債残高の縮減に努めて参りましたが、今後の市債発行額の増加に伴い、一時的な市債残高の増加が見込まれます。
- これらの状況を踏まえつつ、市債残高について、引き続き適正に管理して参ります。

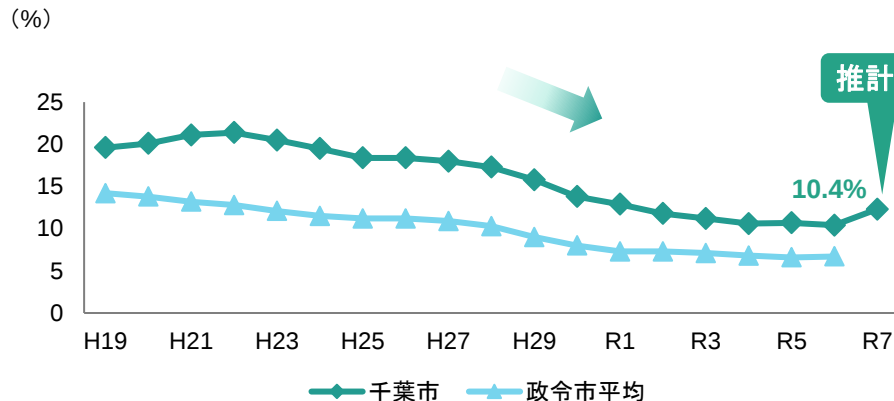
市債残高の推移



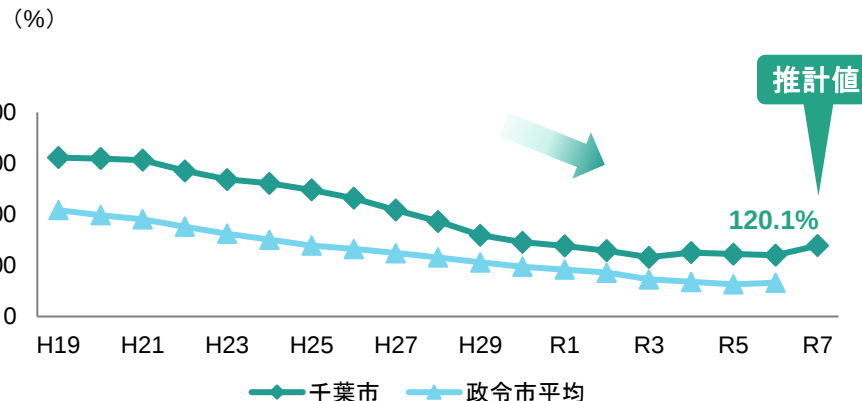
健全化判断比率の推移

- 令和6年度は**実質公債費比率が▲0.3ポイント**、**将来負担比率は▲2.3ポイント**となり、いずれの比率も中期財政運営方針で定めた水準の範囲内に収まっています。
- 今後、発行額及び市債残高の一時的な増加に伴い、実質公債費比率・将来負担比率の一時的な上昇が見込まれます。

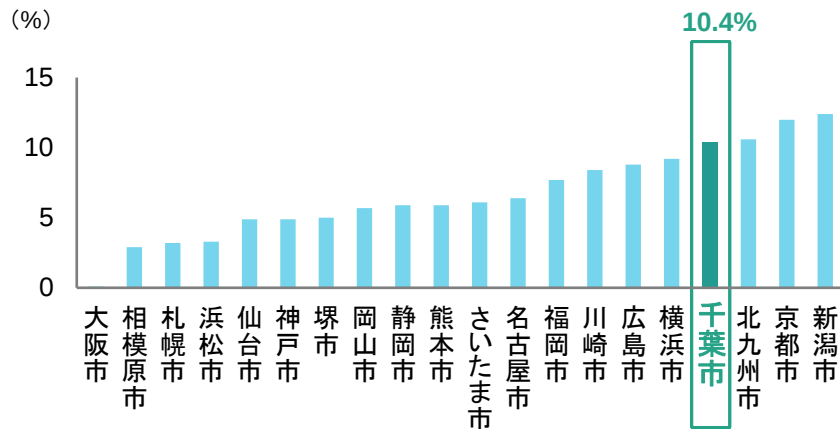
千葉市の実質公債費比率の推移



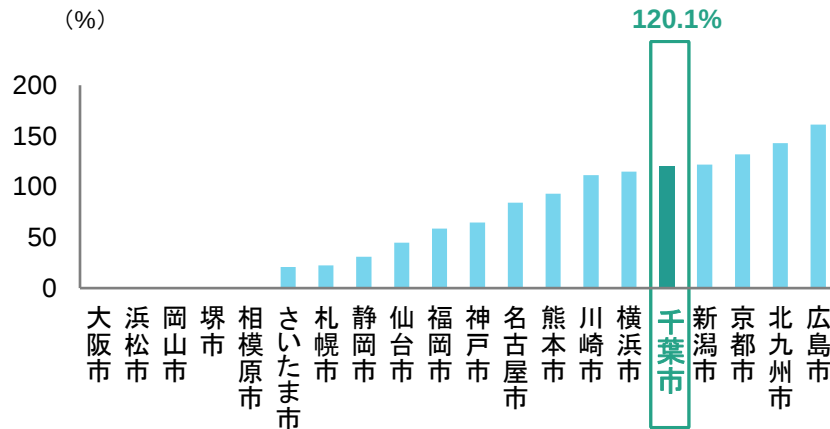
千葉市の将来負担比率の推移



実質公債費比率(令和6年度決算政令市比較)



将来負担比率(令和6年度決算政令市比較)



※ R6までは決算値、R7以降は「今後の財政の見通し」(R6.2公表)における推計値

※ 他市のデータはR7.9.30総務省発表の速報値

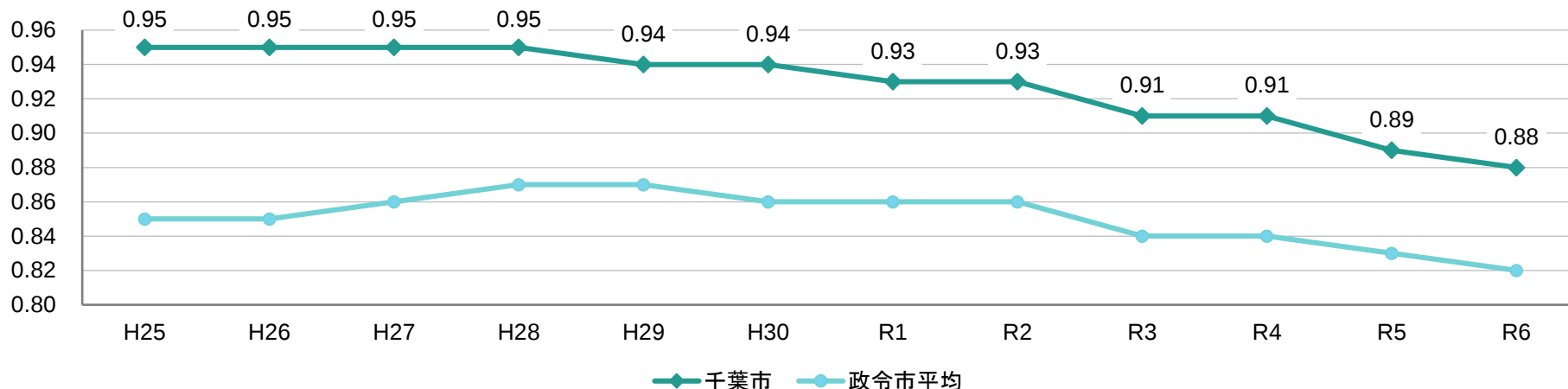
※ 実質公債費比率: 公債費等の標準財政規模に対する割合

※ 将来負担比率: 将来負担債務の標準財政規模に対する割合

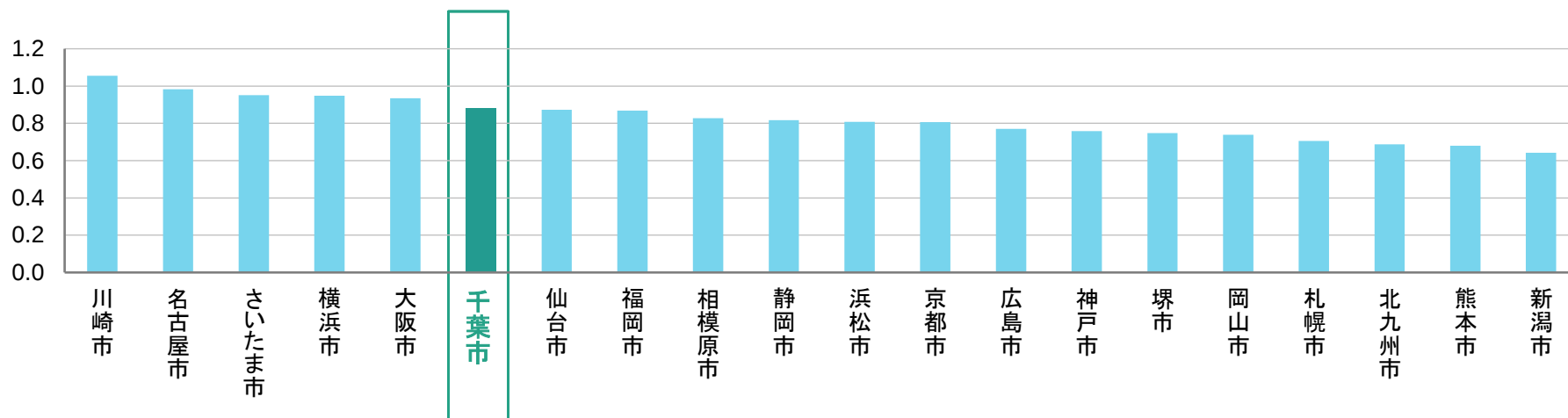
財政力指数の推移

■ 令和6年度決算においては、**0.88**となっております。

千葉市の財政力指数の推移



財政力指数(政令市比較)※令和6年度決算

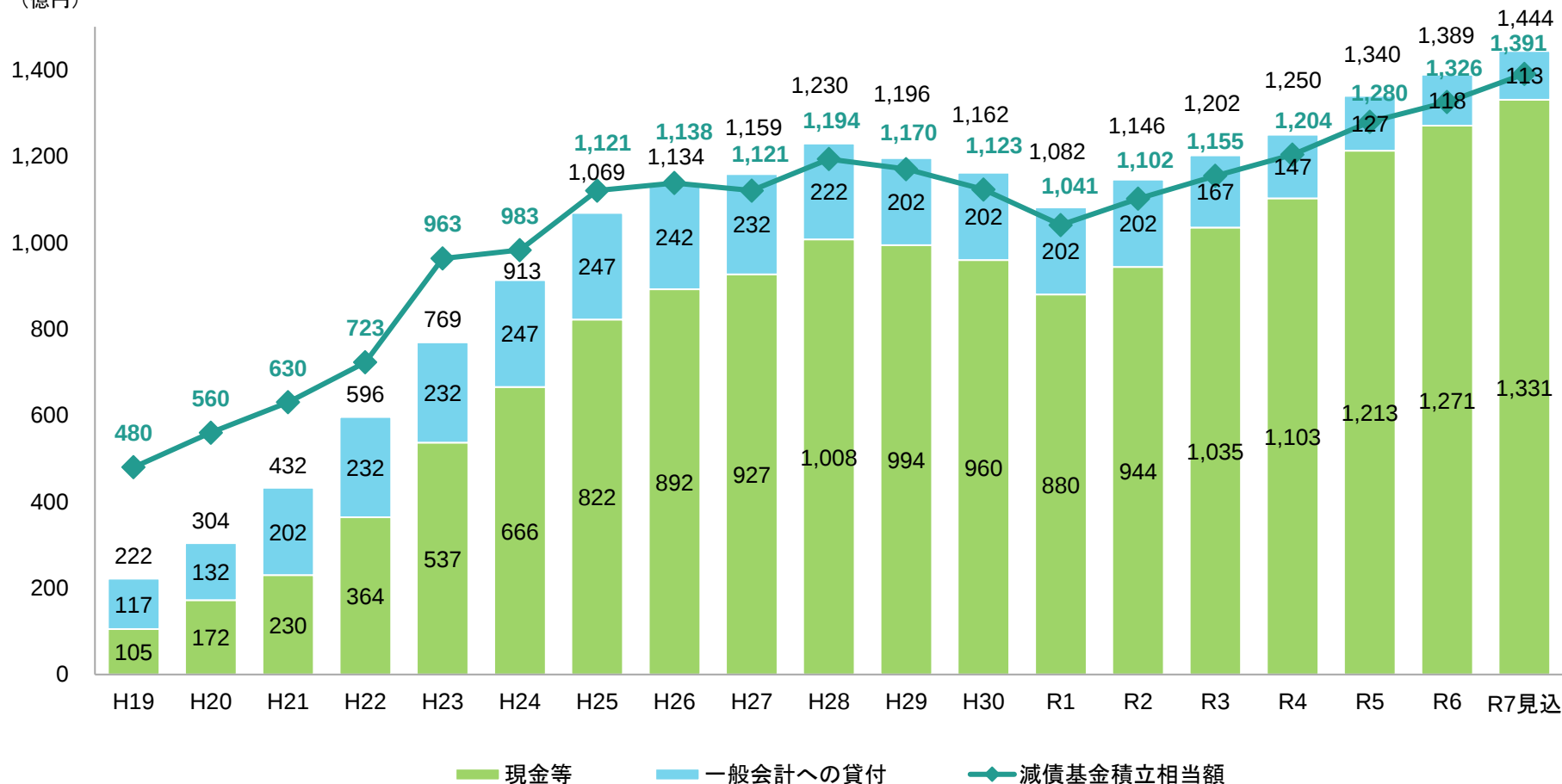


市債管理基金(減債基金)

- 満期一括償還地方債の元金償還に充てるため市債管理基金を設置し、ルールに基づき着実に積立を行い償還財源を確保しています。
- 一般会計の収支不足を解消するため、平成15年度~平成28年度まで、市債管理基金から新規借入をしていました。
- 現在、**一般会計における市債管理基金からの借入金残高の圧縮に注力**しています。借入金残高はピーク時(H24・H25)から129億円の減(R6決算)となっており、今後も計画的(R4~R7の間に60億円程度の返済)に縮減します。

市債管理基金の推移

(億円)



※総務省ルールに基づき算定した積立額



市の鳥 コアジサシ

4.千葉市の起債運営について

起債運営方針

- 本市は、積極的なIR活動を通じて、財政状況や事業内容に関する投資家の皆様への情報発信に努めて参ります。
- 市場環境を踏まえた上で、投資家の皆様と丁寧に対話をしていく起債運営を基本的な方針としております。

千葉市の起債運営方針と 具体的な取組み

起債運営方針の概要

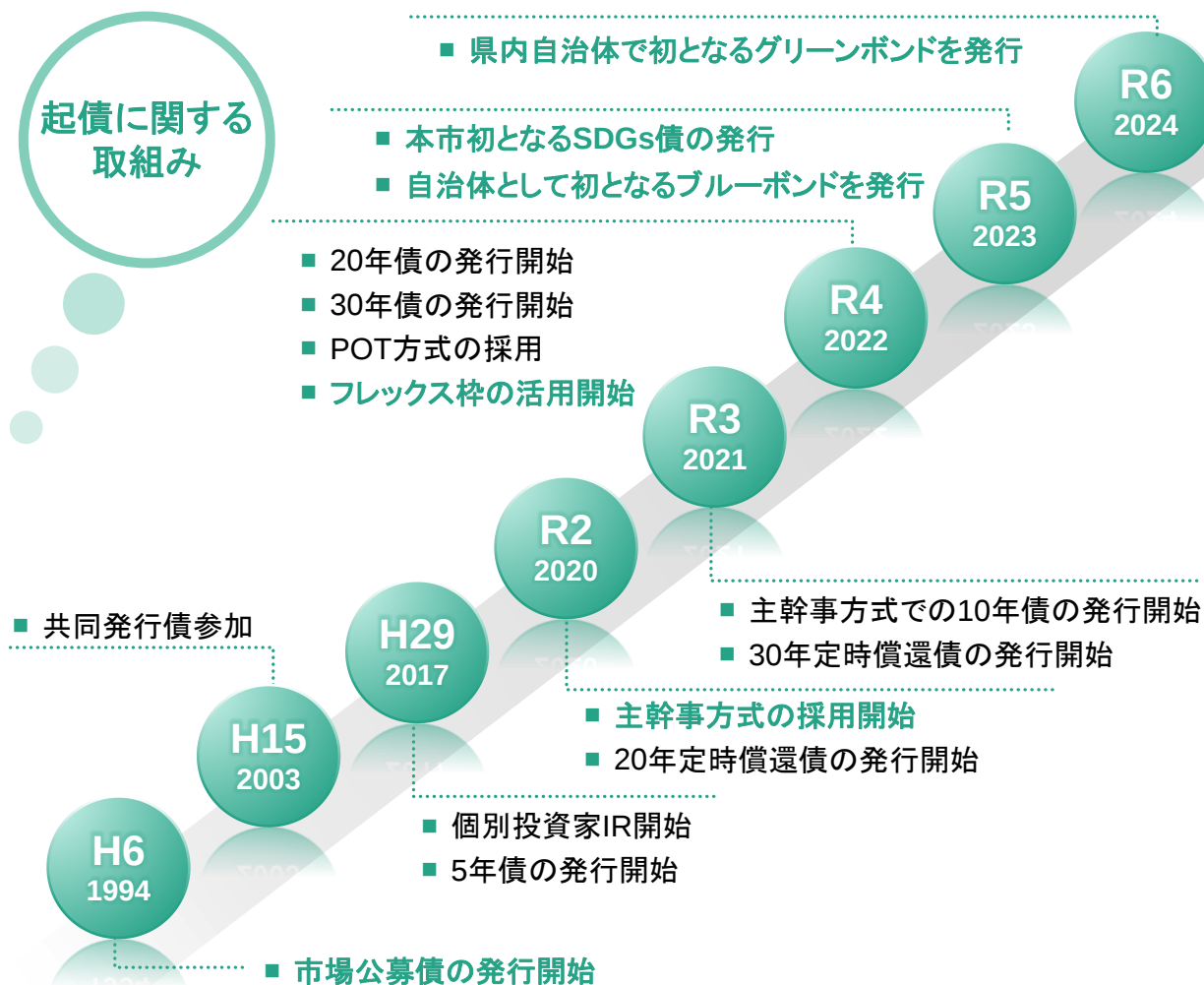
積極的な
IR活動の実施

投資家の皆様の
ニーズ把握

商品性・調達手法
の多様化

千葉市債の
更なる認知度向上

起債に関する 取組み

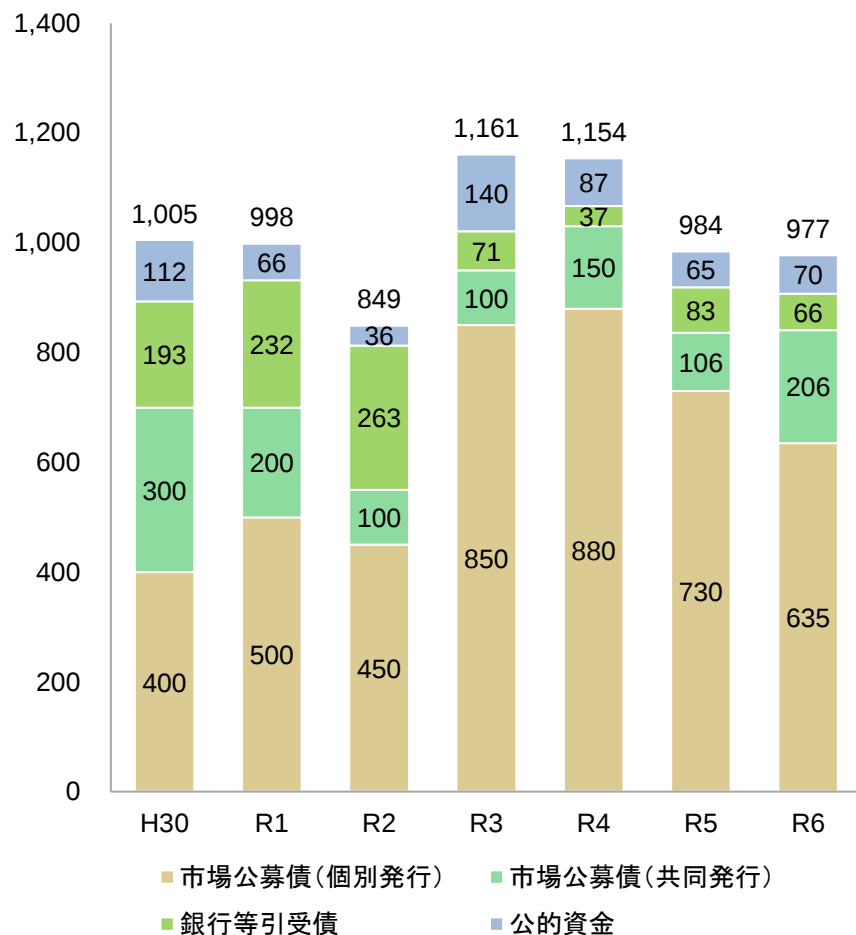


資金区分及び発行年限・償還方法の推移

- 各年度における市債発行額の8割~9割程度(800億円~1,000億円)を民間資金により調達しています。
- 近年では市場公募債(個別発行)の割合を高めており、また商品性の多様化にも努めております。

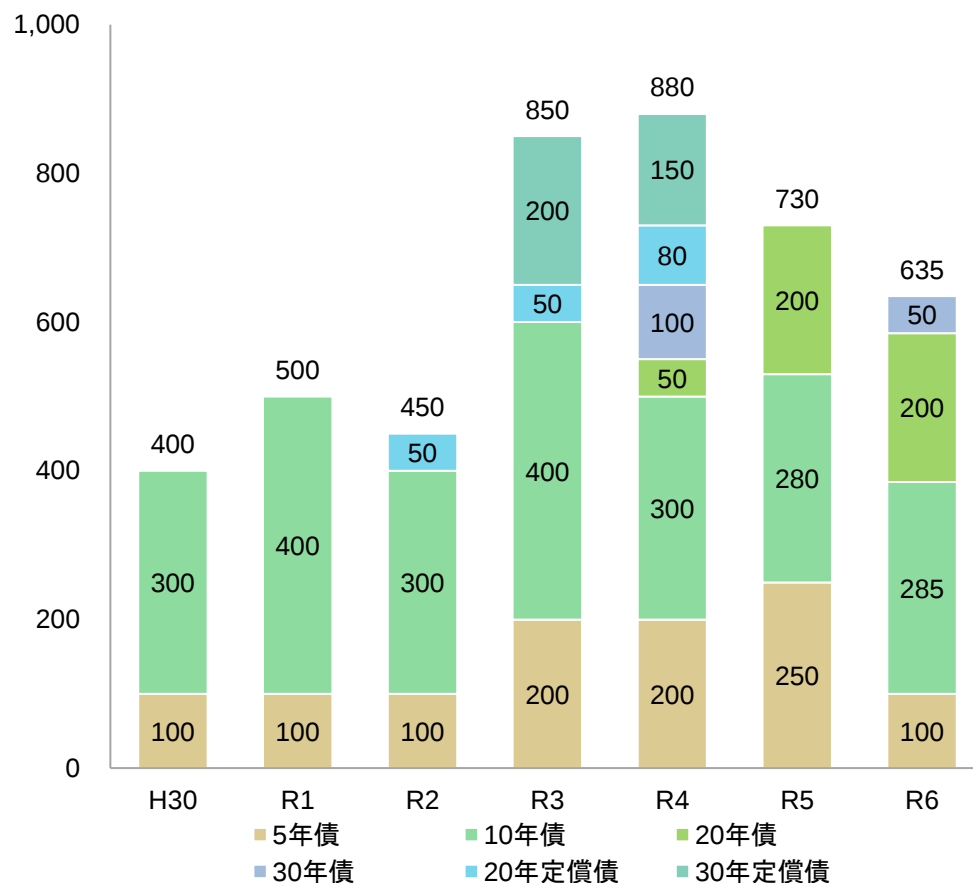
市債資金調達の推移

(億円)



全国型市場公募債(個別発行)の発行額推移

(億円)



全国型市場公募地方債(個別発行)の発行実績

- 平成6年度からシ団方式による発行を開始しており、令和2年度から主幹事方式による発行も開始しています。

令和5年度~令和7年度の発行状況

年度	回号	発行方式	年限	SDGs	発行額 (億円)	表面利率 (%)	条件決定日	払込日	償還日	参照国債
R5	R5-1	シ団	10年	-	100	0.770	2023/04/05	2023/04/25	2033/03/18	#370
	R5-2	シ団	5年	-	100	0.260	2023/05/10	2023/05/25	2028/03/17	#350
	R5-3	主幹事	20年	-	100	1.101	2023/06/02	2023/06/23	2043/06/23	SL#184
	R5-4	主幹事	10年	SusB	50	0.782	2023/08/04	2023/08/25	2033/06/23	#371
	R5-5	主幹事	20年	-	100	1.405	2023/08/25	2023/09/15	2043/06/19	SL#185
	R5-6	主幹事	10年	-	100	0.870	2023/10/04	2023/10/25	2033/12/20	#372
	R5-7	主幹事	10年	BB	30	0.884	2023/12/08	2023/12/26	2033/12/20	#372
	R5-8	主幹事	5年	-	150	0.304	2024/01/11	2024/01/31	2028/12/20	#353
R6	R6-1	シ団	10年	-	100	0.846	2024/04/03	2024/04/25	2034/03/17	#374
	R6-2	シ団	5年	-	100	0.541	2024/05/09	2024/05/24	2029/03/19	#354
	R6-3	主幹事	20年	-	100	1.846	2024/06/05	2024/06/20	2044/06/20	SL#188
	R6-4	主幹事	10年	GB	50	0.913	2024/08/09	2024/08/27	2034/06/20	#375
	R6-5	主幹事	20年	-	100	1.761	2024/08/22	2024/09/10	2044/06/20	SL#189
	R6-6	主幹事	10年	-	100	0.976	2024/10/04	2024/10/25	2034/09/20	#376
	R6-7	主幹事	10年	BB	35	1.157	2024/12/06	2024/12/25	2034/09/20	#376
	R6-8	主幹事	30年	-	50	2.424	2025/02/05	2025/02/27	2054/12/18	UL#85
R7	R7-1	シ団	10年	-	100	1.512	2025/04/04	2025/04/25	2035/03/20	#378
	R7-2	シ団	5年	-	100	1.055	2025/05/09	2025/05/23	2030/03/19	#358
	R7-3	主幹事	10年	-	100	1.674	2025/06/04	2025/06/25	2035/06/20	#378
	R7-4	主幹事	5年	GB	100	1.158	2025/08/08	2025/08/29	2030/06/20	#359
	R7-5	主幹事	10年	GB	50	1.630	2025/08/08	2025/08/29	2035/06/20	#379
	R7-6	主幹事	20年	-	100	2.656	2025/08/21	2025/09/08	2045/06/20	SL#193
	R7-7	主幹事	10年	-	200	1.791	2025/10/03	2025/10/24	2035/09/20	#380

※ SusB:サステナビリティボンド BB:ブルーボンド GB:グリーンボンド

令和7年度市場公募債発行計画

- 投資家の皆様のニーズを踏まえた多様な年限・発行額・発行時期等を検討し、商品性の向上に努めて参ります。

(令和7年10月3日時点)

(億円)

区分	年限 (償還方法)	発行 総額	令和7年									令和8年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個別発行	5年 (満期一括)	100程度		100 シ団										
	10年 (満期一括)	400程度	100 シ団		100 主幹事				200 主幹事					
	20年 (満期一括)	100程度						100 主幹事						
	フレックス枠	200程度							200程度 主幹事					
	SDGs債	未定					150 主幹事		未定 主幹事					
合計		800程度 +α												

主幹事体制

10年 (満期一括)	野村證券(事務) 大和証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券	20年 (満期一括)	SMBC日興証券(事務) 野村證券、東海東京証券
フレックス枠	大和証券(事務) SMBC日興証券、みずほ証券	SDGs債	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務) 大和証券、野村證券

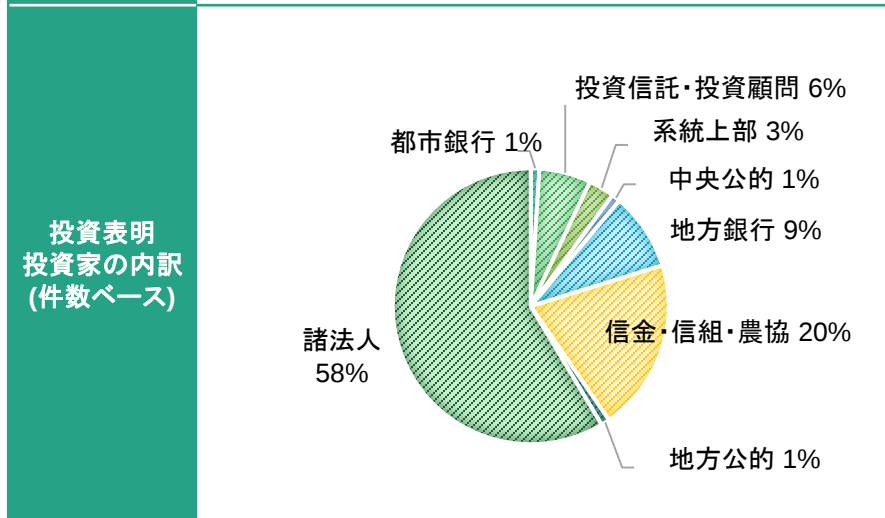
- ※ 市場環境等により、発行計画を変更することがあります
- ※ フレックス枠は、年限や償還方法、発行時期を柔軟に選択するものです。銀行等引受債に振り替える場合もあります
- ※ 発行月(払込日が含まれる月)を基準にして掲載しています

千葉市令和5年度第4回公募公債(サステナビリティボンド)

- 令和5年8月に、千葉県内の自治体で初めてSDGs債を発行しました。
- 発行額50億円に対し**364.2億円(約7.3倍)**の需要が寄せられ、**77件**の投資家様に購入いただきました。

発行概要

名称	千葉市令和5年度第4回公募公債(サステナビリティボンド)
年限	10年(満期一括償還)
発行額	50億円
応募額	364.2億円
利率	0.782%
条件決定日	令和5年8月4日(金)
発行日	令和5年8月25日(金)
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務)、みずほ証券
購入対象	機関投資家向け



※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

投資表明投資家一覧(敬称略・50音順)

1	アセットマネジメントOne株式会社	36	新日本建設株式会社
2	足立成和信用金庫	37	株式会社ストラス
3	株式会社天野産業	38	全国共済農業協同組合連合会
4	株式会社アルファ・メンテック	39	医療法人社団創進会
5	株式会社池田泉州銀行	40	総武機械株式会社
6	石川かほく農業協同組合	41	株式会社タカヨシ
7	いちい信用金庫	42	株式会社千葉共立
8	株式会社ウィード	43	株式会社千葉銀行
9	株式会社ウチダ	44	一般財団法人千葉県公立学校教職員互助会
10	株式会社内山アドバンス	45	千葉県信用保証協会
11	エイチ・ジー・サービス株式会社	46	公益財団法人 ちば県民保健予防財団
12	太田プレス株式会社	47	株式会社千葉興業銀行
13	株式会社オートウェーブ	48	学校法人千葉明德学園
14	大西総業株式会社	49	銚子商工信用組合
15	鹿児島信用金庫	50	株式会社銚子丸
16	鎌ヶ谷巧業株式会社	51	東京海上アセットマネジメント株式会社
17	観音寺信用金庫	52	株式会社トライ・インターナショナル
18	一般財団法人 君津健康センター	53	西三河農業協同組合
19	有限会社クサノ	54	日東工業株式会社
20	株式会社クレックス	55	株式会社日本貿易保険
21	株式会社京葉銀行	56	飯能信用金庫
22	国際空港上屋株式会社	57	株式会社東日本銀行
23	三栄メンテナンス株式会社	58	東山口信用金庫
24	株式会社サンカジロ	59	尾西信用金庫
25	株式会社三協リアル	60	氷見市農業協同組合
26	株式会社三建	61	ひろしま農業協同組合
27	三洋コンクリート工業株式会社	62	碧海信用金庫
28	サンレイ工機株式会社	63	株式会社北洋銀行
29	株式会社 シー・エス・ランパー	64	北海道信用金庫
30	公益財団法人 自動車リサイクル促進センター	65	株式会社みずほ銀行
31	株式会社勝電ユニテック	66	三菱UFJ国際投信株式会社
32	白石管工事株式会社	67	明治安田アセットマネジメント株式会社
33	信金中央金庫	68	公益財団法人 八千代市地域振興財団
34	新光重機株式会社	69	山一興産株式会社
35	株式会社新昭和		

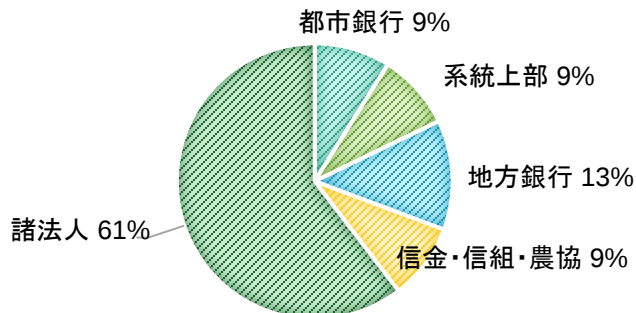
千葉市令和5年度第7回公募公債(ブルーボンド)

- 令和5年12月に、日本国内の自治体で初めてブルーボンドを発行しました。
- 発行額30億円に対し**66.4億円(約2.2倍)**の需要が寄せられ、**27件**の投資家様に購入いただきました。

発行概要

名称	千葉市令和5年度第7回公募公債(ブルーボンド)
年限	10年(満期一括償還)
発行額	30億円
応募額	66.4億円
利率	0.884%
条件決定日	令和5年12月8日(金)
発行日	令和5年12月26日(火)
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務)、みずほ証券
購入対象	機関投資家向け

投資表明 投資家の内訳 (件数ベース)



※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

投資表明投資家一覧(敬称略・50音順)

1	安房運輸株式会社	13	株式会社千葉銀行
2	株式会社安西製作所	14	公益財団法人千葉県私学教育振興財団
3	印旛沼土地改良区	15	株式会社千葉興業銀行
4	太田プレス株式会社	16	千葉テレビ放送株式会社
5	大塚建工株式会社	17	ちば東葛農業協同組合
6	株式会社京業銀行	18	株式会社電洋社
7	三洋コンクリート工業株式会社	19	公益財団法人日本海事広報協会
8	株式会社シー・エス・ランパー	20	日本コープ共済生活協同組合連合会
9	信金中央金庫	21	本町化学工業株式会社
10	株式会社センエー	22	株式会社みずほ銀行
11	全国共済農業協同組合連合会	23	株式会社三菱UFJ銀行
12	たじま農業協同組合		

第9回サステナブルファイナンス大賞における表彰

- ・ 環境金融研究機構が2015年より実施しているサステナブルファイナンス大賞において、千葉市が地域金融賞に選定されました。
- ・ **国内自治体で初めてとなる、資金使途を全額ブルー適格プロジェクトとするブルーボンドの発行が評価**されました。

国内自治体初！調達資金の全額がブルー適格プロジェクトに充当される債券「ブルーボンド」を発行



過去から現在にかけて
海、つまり水との関係性が深い千葉市

- ・ 世界有数の貝塚数、中でも国内最大規模の**加曽利貝塚**
- ・ 日本一長い**人工海浜**
- ・ 日本最大級の貨物取扱量を誇る**千葉港**
- ・ 遠浅の海の恩恵を受け発展してきた**地域性**



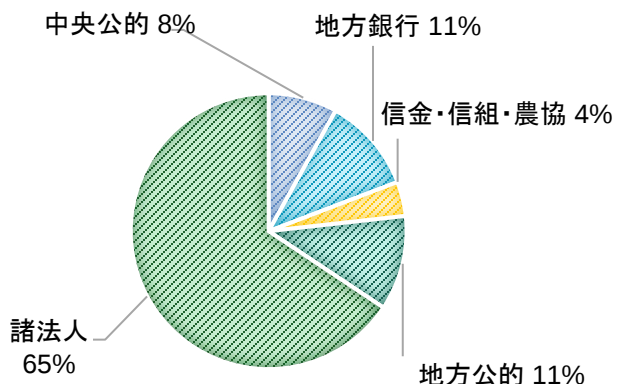
千葉市令和6年度第4回公募公債(グリーンボンド)

- 令和6年8月に、千葉県内の自治体で初めてグリーンボンドを発行しました。
- 発行額50億円に対し**53.4億円(約1.1倍)**の需要が寄せられ、**27件**の投資家様に購入いただきました。

発行概要

名称	千葉市令和6年度第4回公募公債(グリーンボンド)
年限	10年(満期一括償還)
発行額	50億円
応募額	53.4億円
利率	0.913%
条件決定日	令和6年8月9日(金)
発行日	令和6年8月27日(火)
引受会社	大和証券(事務)、SMBC日興証券
購入対象	機関投資家向け

投資表明 投資家の内訳 (件数ベース)



※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

投資表明投資家一覧(敬称略・50音順)

1	いちい信用金庫
2	株式会社ウチダ
3	大阪信用保証協会
4	一般財団法人簡易保険加入者協会
5	株式会社キーベックス
6	社会福祉法人 蛸雪学園
7	株式会社京葉銀行
8	佐倉市
9	公益財団法人 自動車リサイクル促進センター
10	住宅金融支援機構
11	国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林保険センター
12	株式会社 スタジオ柴
13	社会福祉法人 生活クラブ
14	一般財団法人 製品安全協会
15	株式会社 第四北越銀行
16	株式会社千葉銀行
17	千葉県信用保証協会
18	千葉テレビ放送株式会社
19	有限会社 とりせん商事
20	日本コープ共済生活協同組合連合会
21	株式会社日本貿易保険
22	万葉建設株式会社
23	学校法人 美鈴学園 八幡台幼稚園
24	株式会社 メディクロス
25	医療法人 鎗田病院
26	株式会社 ライト建設

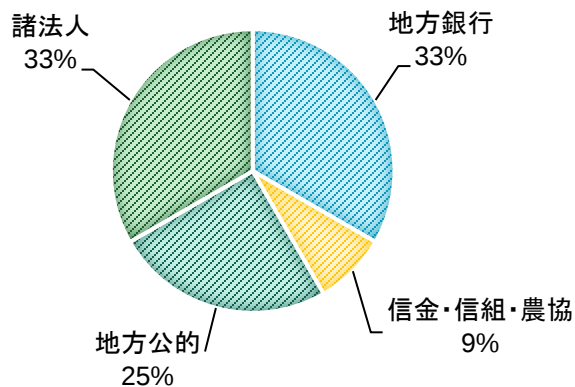
千葉市令和6年度第7回公募公債(ブルーボンド)

- 令和6年12月に、千葉市としては2回目となるブルーボンドを発行しました。
- 発行額35億円に対し、**43.2億円(約1.2倍)**の需要が寄せられ、**12件**の投資家様に購入いただきました。

発行概要

名称	千葉市令和6年度第7回公募公債(ブルーボンド)
年限	10年(満期一括償還)
発行額	35億円(当初発行額30億円から増額)
応募額	43.2億円
利率	1.157%
条件決定日	令和6年12月6日(金)
発行日	令和6年12月25日(水)
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務)、大和証券、SMBC日興証券
購入対象	機関投資家向け

投資表明 投資家の内訳 (件数ベース)



※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

投資表明投資家一覧(敬称略・50音順)

1	公益財団法人足立区生涯学習振興公社
2	茨城県信用保証協会
3	株式会社京葉銀行
4	株式会社千葉銀行
5	千葉県信用保証協会
6	株式会社千葉興業銀行
7	千葉青果株式会社
8	千葉テレビ放送株式会社
9	銚子商工信用組合
10	東京信用保証協会
11	日本再共済生活協同組合連合会
12	株式会社山口銀行

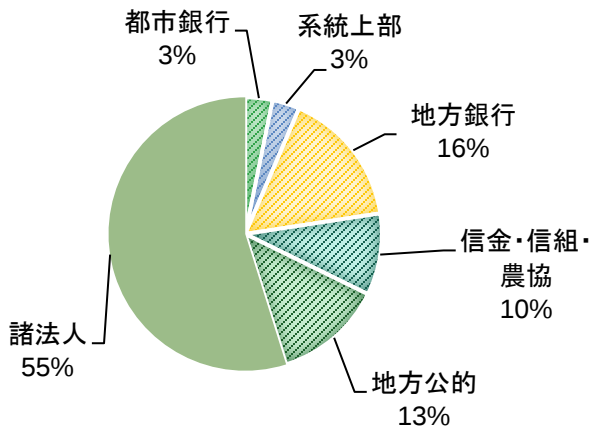
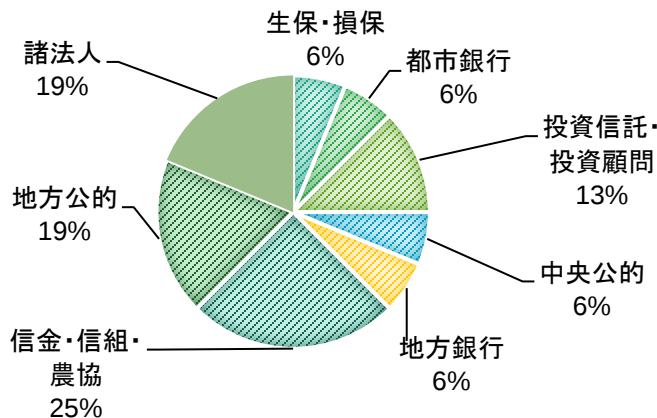
千葉市債を応援してくださる投資家様への取組み

- ・ 地方債市場で唯一の発行となるブルーボンドは、その**希少性**や**グリーンオペの対象**となる商品性を投資家様に好感いただいております
- ・ 今年度は、当初30億円の発行を予定しておりましたが、より多くの投資家様の需要にお応えするために**発行額を35億円に増額**しました
- ・ 今後もより多くの投資家様の需要にお応えするため、**千葉市は多種多様な商品を発行**してまいります

千葉市令和7年度第4回・第5回公募公債(グリーンボンド)

- 令和7年8月に、千葉市としては2回目となるグリーンボンドを発行しました。
- 発行総額150億円に対し、**246.5億円(約1.6倍)**の需要が寄せられ、延べ**56件**の投資家様に購入いただきました。

発行概要

名称	千葉市令和7年度第4回公募公債(グリーンボンド)	千葉市令和7年度第5回公募公債(グリーンボンド)
年限	5年(満期一括償還)	10年(満期一括償還)
発行額	100億円	50億円
応募額	126.3億円	120.2億円
利率	1.158%	1.630%
条件決定日	令和7年8月8日(金)	
発行日	令和7年8月29日(金)	
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務)、大和証券、野村證券	
購入対象	機関投資家向け	
投資表明 投資家の内訳 (件数ベース)	 都市銀行 3% 系統上部 3% 地方銀行 16% 信金・信組・農協 10% 地方公的 13% 諸法人 55%	 生保・損保 6% 都市銀行 6% 投資信託・投資顧問 13% 中央公的 6% 地方銀行 6% 信金・信組・農協 25% 地方公的 19% 諸法人 19%

※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

千葉市令和7年度第4回・第5回公募公債(グリーンボンド)

投資表明投資家一覧(敬称略・50音順)

	投資家名	5年債	10年債
1	学校法人 秋葉学園	○	
2	医療法人社団 あずま腎クリニック	○	
3	茨城県信用組合	○	
4	印西市	○	
5	江戸川区	○	
6	オリックス銀行株式会社	○	○
7	社会福祉法人 穂寿会	○	
8	かとり農業協同組合		○
9	鹿屋市	○	
10	社会福祉法人 君津市社会福祉協議会		○
11	三洋コンクリート工業株式会社	○	
12	株式会社 シー・エス・ランバー	○	
13	静岡県	○	○
14	静岡県富士市		○
15	公益財団法人 自動車リサイクル促進センター		○
16	社会福祉法人 末広会	○	
17	公益財団法人 全国市町村研修財団	○	
18	医療法人 千水会 赤穂仁泉病院	○	
19	太陽生命保険株式会社		○
20	株式会社 筑邦銀行	○	
21	株式会社 千葉銀行	○	○
22	千葉県信用保証協会		○

	投資家名	5年債	10年債
23	千葉テレビ放送株式会社		○
24	ちばみどり農業協同組合		○
25	株式会社 千葉薬品	○	
26	一般財団法人 東葛教育会館維持財団	○	
27	社会福祉法人 童心会	○	
28	株式会社 徳島大正銀行	○	
29	一般財団法人 成田国際空港振興協会	○	
30	成田市農業協同組合	○	
31	西春日井農業協同組合		○
32	株式会社 日警保安	○	
33	日本コープ共済生活協同組合連合会	○	
34	日本地震再保険株式会社	○	
35	株式会社 日本貿易保険		○
36	株式会社 北洋銀行	○	
37	北海道信用金庫		○
38	美樹観光株式会社	○	
39	三菱UFJアセットマネジメント株式会社		○
40	宮崎第一信用金庫	○	
41	株式会社 宮崎太陽銀行	○	
42	明治安田アセットマネジメント株式会社		○
43	社会福祉法人 茂原市社会福祉協議会	○	
44	労働金庫連合会	○	

※ご購入いただいた債券に○を記載



本資料に関するお問い合わせ先

千葉市財政局財政部資金課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号

TEL : 043-245-5078

FAX : 043-245-5535

E-MAIL : shikin.FIF@city.chiba.lg.jp

- 本資料は投資家向けに情報提供するものであり、投資に関する売買等の取引を提案、勧誘、助言するものではありません
- 本資料に掲載している情報は、修正される場合があります
- 本資料内のデータは、信頼できるとされる各種データに基づき作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません